

112号

# 青信曹通



# 第四十六回 曹洞宗青年会 東北地方集会 「岩手大会」

# 【初のオンラインによる大会開催】

- ・第四十六回目を迎えた今大会は新型コロナウイルス感染対策の為、運営は最低限の関係者のみで執り行い、その他の県内外の曹青会員各位はリモートでの参加という初のオンラインでの開催となりました。

## 【開会法要】



- ・導師 東北地区曹洞宗青年会連絡協議会会长 太田厚仁師

## 【東日本大震災物故者並びに復興祈願法要】



- ・導師 秋田県曹洞宗青年会 前会長 赤石基彦老師



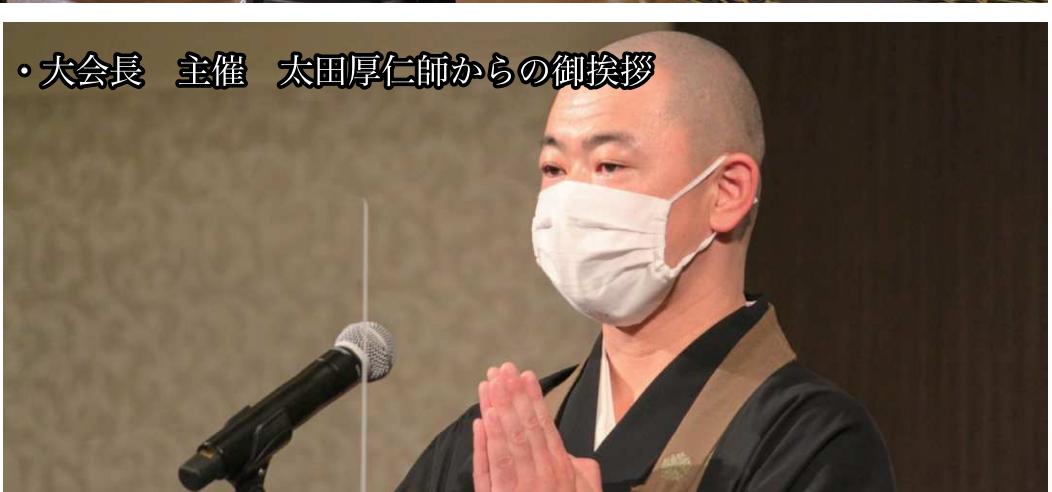
## 【全国自然災害並びに感染症犠牲者物故者追悼法要】



- ・導師 岩手県曹洞宗青年会 会長 鈴木道将師



# 【記念式典】



# 【記念講演】



・講師 東北福祉大学 学長 千葉公慈 老師



・後日、東北福祉大学へ赴き改めて御礼



・東北福祉大学からのリモートによる講演

令和三年十一月九日（火）、第四十六回曹洞宗青年会東北地方集会「岩手大会」が北上市ブランニュー北上を会場に開催され、その中で記念講演として「ブツダ祈りの道」（二大で行くながれ）が東北福祉大学学長千葉公慈老師を講師として新型コロナウイルス感染対策の為、リモートでの講演として開催されました。千葉老師はまず釈尊が、どのような国に生まれ、どのような境遇にいて、なぜ悟りを求めたのかを語りました。そして釈尊の時代と現代社会を比較し、釈尊の残したその普遍的価値観はどの時代、国、人種でも共通するものであり、それを伝えていく担い手が僧侶であり、その役割と責任が仏教寺院にあると話されました。

「仏法の法とはいわば人生道における交通ルールである。知らずとも生きていけるが途中に事故に遭う事もあるれば、起こしてしまって事もある。そういうふつたことができるだけ少ないように仏法を学ぶのだ」とよく私の師匠は話していました。現代の資本主義的価値観で成り立つ社会はとても便利です。スマートフォンひとつで情報を得たり、物を売買できたり、人と人が繋がることができました。

そこには快適さと安易さが潜んでおり、この現代の性質、価値観が私達の考える力、智慧を奪い去ることに繋がります。智慧ではなく自身の経験、体感として知らなければならぬ、智慧とは生きた法でなければならぬと仰られました。昨日のコロナ禍により、従来のグローバル社会における経済的格差や地域格差、物質的・精神的貧困など持続可能な社会を実現するべき問題を解消し、目標すべき資本主義的価値観が崩れつつあります。今こそ資本主義の裏にある経済的格差や地域格差と循環させる新たな価値観が必要であると老師は話されました。

## 記念講演『ブツダ祈りの道』

### 「一人で行くながれ」

タイトルにある「二人で行くながれ」。これは伝道の際の釈尊の言葉です。釈尊の法は現代まで確実に受け継がれていました。それは僧侶一人一人が釈尊の仏法そして己の仏法を信じ人生を懸けて広め、残しました。それから、エールだと老師は仰られました。新たな社会を実現する為にも私達僧侶は学びの手を止めないけれど強く感じました。

# 大会を終えて…

## 大会実行委員長 鈴木道将

初めて、岩手県曹洞宗宗務所長老師をはじめとする県内御寺院各位、岩曹青賛助会員各位、正会員各位よりの多大なるご支援ご協力を賜り、第46回曹洞宗青年会東北地方集会「岩手大会」を開催することができましたことを衷心より御礼申しあげます。

令和三年十一月九日（火）北上市「ブランニュー北上」に於きまして開催された曹洞宗青年会東北地方集会は、東北地区曹洞宗青年会連絡協議会が主催し、東北六県の曹青会が輪番で主管を務める行事です。「東北はひとつ」をスローガンに東北の曹洞宗青年僧侶が大衆教化の接点を求めて一同に集い、研鑽・連絡・和合を目的に綿々と受け継がれてきました。

しかし今回の「岩手大会」は通常の開催とは異なる難しさがありました。大人数での集会や会食、他県との往来、従来の大会運営の方法は、このコロナ禍においてほとんどが過去の大会に倣つた開催をしようとすれば中止以外の選択肢はありませんでした。しかし、コロナ禍であるからこそ最善の形を模索しながら準備に立ち返り、中止という選択肢を捨て、コロナ禍で出来る年という節目に犠牲者の安寧を祈ると共に、新型コロナウイルスの早期終息を祈願するため「祈」を大会テーマに掲げ開催に向け始動しました。

研鑽・連絡・和合の目的を

達成することは東北地区曹洞宗青年会の創設よりの理念でもあります。次期大会に繋げることは岩青の使命であると覚悟し、七回の準備特別委員会を開催し、必要に応じてZoomを利用してのオンライン会議やLINEを利用しての情報共有などを繰り返し、当日の参加者を岩曹青執行部、準備特別委員会などの他の会員・参加者はオンライン配信でのリモート参加という形式での今大会の開催となりました。

コロナ禍以前には考えられなかつた、まさに無先例の大會準備・開催・運営となりましたが、その中で大会の趣旨を理解し、微に入り細をうがつ準備を行つた、準備特別委員会、執行部の皆様のおかげで、無事に次期大会へ絡子をしてしまい多数の岩曹青会員がこの大会に係わることなく終わつてしまつた事です。しかしながら、少人数での大会運営となつてしまった事です。しかし、今大会を中心で経験した活動に役立て、次回の「岩曹青会」では中心となり岩曹青様がこの経験を今後の岩曹青の活動に役立て、次回の「岩曹青会」では中心となり岩曹青をあげて盛大に開催してくれることを期待しております。

残念なことは、全てに於いて少人数での大会運営となつてしまい多數の岩曹青会員がこの大会に係わることなく終わつてしまつた事です。しかし、今大会を中心で経験した活動に役立て、次回の「岩曹青会」では中心となり岩曹青をあげて盛大に開催してくれることを期待しております。

### ・前回開催県である秋田県曹洞宗青年会からの絡子伝達



・後日、一関長泉院での次期開催県である宮城県曹洞宗青年会への絡子伝達



# 第一回教養セミナー

令和三年十二月十三日（木）北上市ブランニュー北上を会場に令和三年度第二回教養セミナーが開催されました。

講師として、埼玉県警に二十二年奉職し、捜査一課ではデジタル捜査班班長としてデジタル証拠の押収解析を専門として事件解決に尽力され、現在はコメンテーターとしてテレビでも活躍の佐々木成三氏をお招きして、昨今のスマートフォンやSNSを起因としたデジタル犯罪に対するデジタル防犯についてのご講演を頂きました。

佐々木氏は最初にデジタル防犯についてネットの怖さは「知らない」という事であるとし、ネットリテラシーの大切さを説かれました。ネットリテラシーとはネットの情報や事象を正しく理解し適切に判断する能力であり、それはそのままデジタル防犯に繋がると話され、その中でSNSの怖さを語られました。

佐々木氏はSNSの怖さとして、知らずに違法行為をしてしまう、または巻き込まれてしまう可能性がある事をあげました。昨今ネットでの誹謗中傷やイタズラ動画のアップロード等の問題がありますが、場合によっては刑事告訴や民事訴訟に発展する事もあります。しかしそのほとんどの加害者が問題になると、と思って無かつたそうです。ネット上の知らない人間からの「いいね」に満たされる承認欲求によって現実感が薄れてしまい、軽い気持ちで行動してしまいトラブルになってしまいます。「知らない」という事は危険である事、そして知らずにして知らない人に会う事だと語られました。

昨今ではSNSを通じて簡単に他人と繋がる事が出来ます。ただその繋がった他人が実

・講義される佐々木成三氏



令和四年二月四日（金）に令和三年度第三回教養セミナーが開催されました。講師として盛岡市議会議員「岩手レインボーマーチ」代表の加藤麻衣氏を講師にお招きし宗門の基礎を中心にご講演いただきました。

まずLGBT（SOGIとも呼ぶ）とは、

L（レズビアン）G（ゲイ）B（バイセクシャ

ル）T（トランスジェンダー）の頭文字であり、

人の性自認や性的指向には様々な形があり

ます。LGBTとはその中のほんの4つに過ぎず、これにQ+（クエスチョニング、クライア

の意、自身の性自認や性的指向が定まって

いない、もしくは定めていない多種多様なセ

クシヤリティ）を足して「LGBTQ+」と表

現致します。+は何かの頭文字ではなく他に

も様々なセクシヤリティがある事を示すため

に付けられたそうです。

講師の加藤氏は自身のレズビアンを公表し

ておりますが、常に日本での、社会での生き

辛さを感じながら生活していたそうです。し

かし二〇一九年にニューヨークで行われたL

GBTQ+の祭典であるプライドパレードに

参加した経験をもとに帰国後、自分が暮ら

しやすい場所に行くのではなく、今自分が

暮らす場所を住みやすくしようという思いか

ら、性的マイノリティ・マジョリティだけで

なく、生き辛さを抱える人々が、生きる

意味や生き甲斐を感じられる社会を作る

ことを目標に、盛岡市議会議員選挙に出馬され

たそうです。

講義の最後にディスカッションの時間となりました。僧侶である我々にとって

もので、だからこそ活用する為には

正しい知識とネットリテラシーが重要

となります。僧侶である我々にとって

身近であり、考えさせられるお話を

しました。

# 第三回教養セミナー

なる方、またはノンバイナリーの方が亡くなつた際、戒名はどうなるのか？』という質問を頂きました。生前有意思を示していない場合には、遺族の考えによつては本人が望んだ形とはならない可能性があります。またその相談は僧侶へのカミングアウトが必要となります。どうすべきかは概に結論付けが出来る物では無いですが、大変考えさせられる講義となりました。

昨今ジェンダー、性別の問題は

新たな社会の課題として常に私達

の傍にあります。LGBTQ+の方だけに限らず、講演の中で加藤

氏が仰られた『全ての人が生きていく

良かつたと思える社会』に少しでも近づくには、まず理解しようとする事が大事であり、そして我々

僧侶も菩薩行の実践者として、常

に様々なアンテナを張り、生き辛

さの中にある方に寄り添えるよう

に日々研鑽を深めて行かなければ

ならないと感じました。

講師の加藤氏は自身のレズビアンを公表しておりますが、常に日本での、社会での生き辛さを感じながら生活していたそうです。しかし二〇一九年にニューヨークで行われたGBTQ+の祭典であるプライドパレードに参加した経験をもとに帰国後、自分が暮らしやすい場所に行くのではなく、今自分が暮らす場所を住みやすくしようという思いから、性的マイノリティ・マジョリティだけではなく、生き辛さを抱える人々が、生きる意味や生き甲斐を感じられる社会を作る

ことを目標に、盛岡市議会議員選挙に出馬され

たそうです。

講義の最後にディスカッションの時間とし

て、加藤氏から私たち僧侶に対しての問いか

けとして、「生まれ持つた性別と性自認が異

・講義される加藤 麻衣氏



# 教区たより

## 一教区

コロナ禍が収まらない中で、一昨年に引き続き、教区内の行事や寺院法要は軒並み中止、延期または縮小されました。

五月十九日、龍松寺住職 田村敞一老師が御遷化されました。

六月十五日、喜雲寺住職 佐々木端瑛老師が御遷化されました。

病禍のいち早い終息を願つております。

## 二教区

令和三年十月三日、大泉院様に於いて二十二世梅鉄宗且大和尚退董式・二十二世梅光和則和尚晋山式が執り行われました。

令和四年一月十二日、長岩寺東堂 齊藤盛久老師が御遷化されました。その他予定されておりました諸行事は、新型感染症対策の為、中止または延期となりました。

## 三教区

五月、聖福院様に於いて結制・先住忌法要が執り行われました。

六月、地蔵寺様に於いて退董晋山結制法要が執り行われました。

九月、大聖寺様に於いて両祖忌法要が執り行われました。

来年度の行事予定といしましては

五月に鳳林寺様 本葬法要

九月に地蔵寺様に於いて両祖忌法要となつております。

## 四教区

五月三十日 凌雲寺様に於いて晋山結制・両祖忌が執り行われました。  
九月二十五日 興禪院様に於いて晋山式・両祖忌が執り行われました。

## 五教区

令和三年十月三十日・三十一日に川崎にて晋山結制が執り行われました。

五教区では今年度も、新型コロナウイルスの影響により教区行事は中止、または内献となりました。

## 六教区

六月二十三日・二十四日、鳳凰寺様に於いて晋山結制が執り行われました。

ともにコロナ禍の為、感染予防に最大限務めました。

令和四年三月二十六日・二十七日には、龍徳寺様に於いて宇津野則昭老師の本葬が厳修されます。

七教区では十二月一日から十二月七日まで教区内巡回摂心が旧一関市、花泉町内寺院七箇所に於いて僧侶、檀信徒、寺族、徒弟を対象に開催されました。新型コロナウイルスの影響でその他の教区行事は中止、または内献となりました。十二月一日付けで龍澤寺 塩竈康隆師が住職になられました。晋山式は令和六年四月を予定しております。

十二月一日付けで龍澤寺 塩竈康隆師が住職になられました。晋山式は令和六年四月を予定しております。

## 八教区

令和三年十月三十日・三十一日に川崎東安寺様に於いて晋山式が予定されましたが、コロナ感染症予防の観点から年次行う予定でした法要を、今年度十分な感染対策や規模を縮小して、晋山式や法戦式、両祖忌を行いました。一刻も早い新型コロナウイルスの終息と、行事開催を願い、第四教区の報告とさせて頂きます。

令和四年六月二十五日・二十六日に延期。令和四年一月十九日に一関市 龍雲寺二十世 須藤昭見老師が御遷化されました。

大般若祈祷会、施食会などの寺院法要等は各寺、同観点から規模を縮小して行いました。

毎年行われてきました教区坐禅会も令和二年、令和三年と中止が続きました。コロナが落ち着けば令和四年は開催したいと思います。

## 九教区

第九教区では、続くコロナ禍の中での各寺院ごとの法事や葬儀などを通し、青年会会員一人一人とお檀家様の繋がりが一層深くなつた一年となりました。

また、陸前高田市の龍泉寺様におかれましては、平成二十三年の震災で被災された本堂が再建され、十月二十三日に落慶式が執り行われました。困難な状況ながらも震災復興が進む中で、龍泉寺様にいらっしゃいます。

でどのような布教活動が行えるか、そして宗門の教えをどのように檀家様の心の平穏に繋げられるか、これを各会員それぞれが深く考え、次年度の活動にも活かしていくようにしたいと会員共通の想いとして掲げ、鋭意努力していきたいと思います。

## 十教区

六月二十七日、光明寺様に於いて、菊池光康老師の晋山式・先住忌法要を厳修致しました。

十一月七日、教化布教大会では教区内で研修会を開催できなかつたことを考慮し、十教区内の青年会員全員参加の形を取らせていただきました。

令和四年一月二十六日、教区人権学習会並びに常樂寺 藤原育夫老師 宗務所長就任、盛岩寺 三宅俊禅老師 住職勤続三十年、光明寺 菊池光康老師 晋山の表彰式が感染対策徹底のもと執り行われました。

## 十一教区

五月二十二日、教区青年会総会を行い、山門法要、青年会主催の各行事について話し合いました。今年も新型コロナウイルス感染拡大の影響は衰えず、各法要については自粛となりました。そんな中でも、情報を共有し、十二月一日には歳末助け合い托鉢を行いました。

新たな常識という型の中での法事や教区の行事はどうしても自粛の方向に向かいがちになつてしまします。来年度は通常に活動出来るよう一日でも早い安寧を祈ります。

## 十二教区

また令和四年五月に洋野町 東長寺様に於いて晋山結制法要が厳修されました。

また令和四年五月に洋野町 東長寺様に於いて晋山結制法要が予定されおりま



発行者 岩手県曹洞宗青年会 鈴木道将

発行所 岩曹青事務局 二戸市浄法寺町寺ノ上 28  
(福蔵寺内)

TEL 0195-38-2149  
FAX 0195-38-2149

題字／ 宗務所長 藤原育夫  
編集／ 事業部